

INDIA NEWS

～インドで頑張ってる情報ネットワーク工学科の卒業生達～



About the news paper

↑写真はチャイニーズ・フィッシャー・ネットと呼ばれる漁業に使われる網で、夕方になると写真のように夕陽とのコラボレーションが現地独特の風景へと変貌します

この記事は、本学を卒業した学生のうち、インドへ渡った卒業生達がどのように過ごしているか紹介する記事です。3年前から情報ネットワーク工学科を卒業した3名の学生が、インド現地の会社で働きながら、英語とプログラミングの勉強をするという武者修行の生活を過ごしています。現在は3年前に卒業し2年半のベテランが1人、昨年卒業した2ヶ月半のビギナーが2人の計3人です。僕らの暮らしからインドについて知っていただけると幸いです。

記念すべき1回目は食・生活・仕事の3つについて紹介いたします。いずれも日本との違いに驚きつつも、現地ならではの貴重な経験でしたので、是非皆さんに興味を持っていただければ幸いです。

Food



↑ こちらは現地のベジ料理専門店で購入した料理の品々。ベジ料理とは思えないほど多彩な味付けになっていて、最後まで美味しくいただくことができました。

休日は現地の友人と一緒に外に出かけたりしています。現地で有名なショッピングモールや、現地民ならではのフェスなどを紹介してくれます。とても2~3年程度では回りきれないほど魅力的なスポットが沢山あります。また、現地民と一緒にいるので、安心して楽しむことができます。

Study



↑ GMと直接取引内容の確認を行い、円滑に仕事を進めるようにディスカッションを毎日行っています。エンジニアとは会話だけでなく、身振り手振りでの説明や資料を作るなどして、頑張ってコミュニケーションしています。

食事はカレー中心のメニューとなりますが、トロミのあるグレービー系やマトン(羊)のカレーなど、豊富な種類のカレー料理があります。また、南インドでは、パン料理にナン以外でチャパティやポロタと呼ばれる料理があり、そのまま食べても十分美味しく食べられます。

Life



↑ この日は現地のショッピングモールにて、ルームシェアの日本人と一緒に4人で遊びに行きました。

インドコスモシステムズ(代表デービス・セバスチャン)というIT会社で3人の研修が行われています。インドコスモシステムズは約30名の従業員(インド人)で構成されています。東京に支店があり現在6名のインド人スタッフが東京で生活しています。インドコスモシステムズは日本の会社をクライアントに持ち、業務管理アプリケーションやPOSシステム(レジシステム)および電子書籍管理ソフトから端末アプリ(iOS、Android)まで幅広く開発を手がけており、今後は日本のみならずアメリカやドイツなど事業拡大を見据えています。

このインドコスモシステムズで英語の習得およびプログラミング能力を向上させ、グローバルに活躍できるブリッジSEを目指しています。